

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 47 号 2023 年 3 月

九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2022 年度 日本分析化学会九州支部

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-35

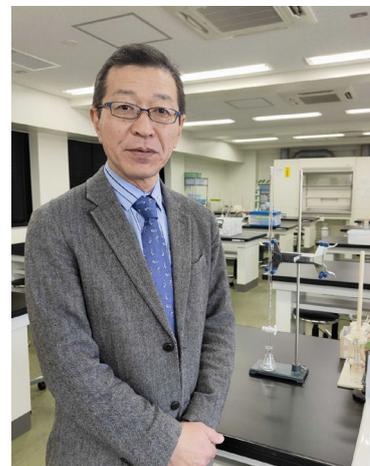
鹿児島大学大学院理工学研究科化学プログラム 環境解析講座

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

富安卓滋前支部長（鹿児島大学）の後をついで、2023 年度支部長をおおせつかりました、大分大学理工学部の井上高教です。微力ながら支部の発展に貢献したく、奔走いたします。

コロナ過にあったこの 2 年間は、執行部の先生方をはじめ、学会の在り方についての様々な議論検討、模索、試行錯誤され、学会運営にご尽力いただきました。学会、支部運営にあたって、オンラインツールを活用することによる、メリットやデメリットを、皆さま経験されたことと思います。これからの学会、支部運営では、そのメリットを最大限に活用して、ウィズコロナにおける学会の在り方、支部運営を改変し続ける時期ではないかと感じております。



2023 年度の九州支部としての主要な活動である第 36 回若手研究講演会および第 41 回夏季セミナーについては、世話人の佐藤しのぶ先生が検討くださっています。また、第 60 回化学関連支部合同九州大会、分析化学講習会/HPLC 講習会や機器分析ワークショップなどの多くの支部活動も計画されており、会員や学生のみならず、化学に興味のある方すべてが参加・参画して頂けることを期待しております。

2023 年度の学会は、2 年ぶりに対面での開催となり、私個人、現地での直接顔を合わせた議論ができることを非常に楽しみにしております。特に年会が熊本大学での開催ということで、戸田敬先生（熊本大学）を中心に企画されております。つきましては、執行部も一丸となって年会運営に協力すると共に、九州支部の底力を全国に見せるべく、支部会員の皆さま方にも是非ともお力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨今の学会運営では、若手の獲得、新規会員の獲得に苦慮している学会が多いと聞きますが、例にもれず分析化学会も次世代を担う若手研究者の獲得、育成が課題となっております。伝統ある学会を継承しつつ、時代に即した学会、研究のあり方を模索すべきだと思います。オンラインツールを活用することにより、所属や地域を越えた交流の敷居が低く容易になりました。交流や研究のグローバル化をすすめ、支部内ひいては全国での活発な研究交流を進めてまいりましょう。

一方で、最近、農畜産物の現場に足を運ぶことが増え、ラボ内での研究にとどまらない「現場」での分析の重要性と必要性を肌で感じる機会が多くあります。ラボの外には、そのような事案や課題が山積みであることは、実はあまり知られていないのかもしれませんが。分析化学の最先端技術を適応することで解決できる課題は、まだまだあるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、2023 年度の支部執行部は、副支部長に、稲田幹先生（九州大学・中央分析センター）、浅田泰様（(株)住化分析センター・大分ラボラトリー）、庶務幹事に、江藤真由美先生（大分大学）、会計幹事に、鈴木絢子先生（大分大学）に就任いただき活動を進めてまいります。原点を見つめた支部活動に少しでも貢献して行き、さらに活発な学会活動をしたいと想います。どうぞ宜しくお願い致します。

（大分大学 井上高教）

支部長退任のご挨拶

日本分析化学会九州支部のみなさま、こんにちは。2022年度の支部長を仰せつかっていました鹿児島大学学術研究院理工学域理学系富安卓滋です。前任の熊本大学井原敏博先生から支部長を引き継いで1年が経とうとしています。今年度もコロナ禍へのさまざまな対応を求められながらの支部活動となりましたが、徐々に出口が見えてきたようにも感じています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻はいまだに



終わりが見えず、派生的にアジアにおける緊張も高まっており、世界的に暗い影を落としています。この侵攻に巻き込まれた方々の平穏が1日でも早く戻ることを祈ると共に、戦争は健全な研究の発展とは相容れないものであることを再確認し、世の中がおかしな方向へシフトすることがないように、一刻も早く終結することを願ってやみません。

さて、今年度は、副支部長に、大平慎一先生(熊本大学)、赤瀬信一郎様(鹿児島県警科捜研)、庶務幹事に、神崎亮先生(鹿児島大学)、会計幹事に、児玉谷仁先生(鹿児島大学)に就任いただき活動を進めてきました。今年度の支部活動を支えてくださった、執行部の先生方、支部幹事の先生方そして全ての会員の皆様に心より感謝申し上げます。終わらないコロナ禍の中、第35回若手研究講演会および第40回夏季セミナーは、オンラインで実施されましたが、オンラインならではの様々な工夫がなされ、若手交流の新しい可能性を感じさせるものとなりました。一方、討論会、年会は対面での実施が再開され、直接顔を合わせて議論することの大切さを改めて感じた会員も多かったのではないかと思います。支部活動においても、2回の常任幹事会はリモート開催としましたが、11月の幹事会を対面で開催することができました。会議のリモート開催は、参加者の移動にかかる時間的負担を無くすることができる、また、支部会計上の支出を抑えることができるということにおいて、間違いなく利点を持ちますが、対面での開催には、その場の熱感を共有し、共通理解が深まるという点で、リモートではまだ達成され得ない領域があるように思います。否応無しに忙しい毎日を送る先生方が、少しでも負担感なく支部運営に関われる形を柔軟に考えて行くことがますます必要となり、また、それを可能とする環境は整ってきたように感じています。

来年度は、大分大学工学部井上高教先生に支部長をお引き受けいただきました。九州支部として、来年度は72年会を熊本にお迎えすることになりますが、熊本大学戸田敬先生を実行委員長として、準備が着々と進められているところです。また、2021年以降実施が見送られてきた分析化学講習会も来年度の開催に向けて準備が始められました。2023年度はコロナ禍を乗り越えた様々な取り組みが加速していく年になりそうです。支部活動に対する皆様のご理解とご協力をこれからもどうぞよろしくお願い致します。

(鹿児島大学 富安卓滋：写真前列右。2022年10月スロベニア調査にて)

支部活動報告

❖ 第59回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2022年7月2日（土）

共催：日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部
北九州市

会場：北九州国際会議場

分析化学のポスターセッションでは、43件の発表があり、九州分析化学ポスター賞5件を選出しました。大会の詳細は支部ニュース46号をご覧ください。

❖ 九州分析化学若手の会 第35回 若手研究講演会 および第40回 夏季セミナー ❖

期日：2022年7月29日（金）～30日（土）

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

会場：オンライン開催

世話人：佐賀大学農学部・宗 伸明、野間 誠司

*詳細は支部ニュース46号をご覧ください。

❖ 第61回 分析化学講習会 ❖

2022年度の第61回分析化学講習会の開催に關しまして、実行委員からの意見を集約した結果、年度中の開催は極めて難しいという結論に至りました。次年度の分析化学講習会については、実行委員長である鹿児島大学大学院の富安先生にご計画いただいております。こちらにつきましても決定次第、改めてご連絡をさせていただきます。

❖ 機器分析ワークショップ ❖

機器分析ワークショップ2022 in 鹿児島

期日：2022年10月13日（木）

主催：日本分析化学会九州支部

協賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本

会場：鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター セミナー室

講演：戸田敬先生（熊本大学）

「におい成分・大気成分を追跡する」

GC触媒分解FID/MS, SIFT/MS, HILIC-MS及びマイクロガス分析システムの紹介

大平慎一先生（熊本大学）

「ITD（溶存イオン抽出デバイス）によるイオン分析の前処理と応用」

3年ぶりの機器分析ワークショップが、鹿児島大学にて開催されました。



❖ 2022年度九州支部講演会 ❖

期日：2022年11月9日（水）

主催：日本分析化学会九州支部

会場：鹿児島大学 理学部2号館220教室

講演：

1. 「三菱重工グループと分析化学」

三菱重工業株式会社 総合研究所

澤津橋 徹哉 先生

2. 「多元素高感度分析法を用いた微量元素分析による物的証拠の異同識別」

科学警察研究所 法科学第三部

鈴木 康弘 先生

❖ 2022年度九州支部産学連携見学会 ❖

見学会と情報交換会はコロナ感染のリスク軽減の観点から今年度は実施致しませんでした。

❖ 会議等 ❖

● 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2022年5月28日（土）

会場：Zoomによるオンライン会議

*2022年度九州分析化学奨励賞受賞者3名については支部ニュース46号をご覧ください。

● 2022 年度第 1 回常任幹事会
期日：2022 年 6 月 13 日（金）
会場：Zoom によるオンライン会議

● 2022 年度学会賞等候補者推薦委員会
期日：2022 年 11 月 9 日（水）
会場：鹿児島大学理学部 211 室

● 2022 年度幹事会
期日：2022 年 11 月 9 日（水）
会場：鹿児島大学理学部 220 室

● 2022 年度第 2 回常任幹事会
期日：2023 年 2 月 20 日（月）
会場：Zoom によるオンライン会議

本部関連

❖ 第 83 回 分析化学討論会 ❖

期日：2023 年 5 月 20 日（土）～21 日（日）
会場：富山大学五福キャンパス
実行委員長：遠田 浩司（富山大学学術研究部工学系）
討論主題：
1. 生命を観る・測るバイオ分析の最前線
2. “Next Gen” 化学センシング ～次世代化学センシングの方法論・デバイス開発の最前線～
3. 流れ分析法の新展開と社会への貢献
4. より迅速で、より簡便な分析化学を目指して
5. 未来の「食」と「薬」を創る分析化学
※ 討論趣旨及び依頼講演など詳細は討論会 HP
（<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsac83touron/top>）をご参照ください。

❖ 日本分析化学会 第 72 年会 ❖

期日：2023 年 9 月 13 日（水）～ 15 日（金）
会場：熊本城ホール（熊本市）
講演申込・参加登録開始：
2023 年 4 月 26 日（水）
講演申込締切： 2023 年 6 月 7 日（水）
要旨提出締切： 2023 年 7 月 5 日（水）
事前参加登録締切：2023 年 8 月 30 日（水）

シンポジウム

1. 分析化学反応場における酸と塩基
～酸・塩基の定義から 100 年～
（オーガナイザー：高椋利幸（佐賀大），梅木辰也（佐賀大），神崎 亮（鹿児島大），吉田亨次（福岡大））
2. バイオ界面の分析化学
（オーガナイザー：松田直樹（産総研），安川智之（兵庫県立大））
3. 医薬領域の進歩に貢献する分析化学
（オーガナイザー：浜瀬健司（九州大），巴山 忠（福岡大））
4. ポストコロナに向けた分析化学
（オーガナイザー：竹中繁織（九工大），佐藤しのぶ（九工大））
5. 産業界シンポジウム

※ 講演募集要項は「ぶんせき」誌 2023 年 5 月号および第 72 年会 web に掲載予定です。
分析化学会第 72 年会 web

<https://conference.jsac.jp/72nenkai/>

※ 九州支部により開催の年会です。ふるってご参加のほどお願いいたします。

日本分析化学会 第72年会

会期 2023年9月13日(水)～15日(金)
会場 熊本城ホール 熊本市中央区桜町3-40





講演申込	4月26日(水)～6月7日(水)
要旨締切	7月5日(水)
懇親会	9月14日(木)ラゾールガーデン熊本

実行委員長 戸田 敬 (熊本大学大学院先端科学研究部(理学系))
連絡先 日本分析化学会 第72年会事務局 Email: 72nenkai@jsac.jp

❖ *Analytical Sciences* 誌等への投稿のお願い ❖

2022年1月より、Analytical Sciences (Anal. Sci.) 誌の出版業務が Springer Nature (SN) 社に委託されました。

新 Web site は以下のリンクからアクセスできます。

<https://www.springer.com/journal/44211>

また新投稿サイトは以下をクリックください。

<https://www.editorialmanager.com/ansc/default2.aspx>

分析化学会の会員は、学会のマイページにログインすることにより Anal. Sci. の電子版を、読むことができます。

<https://jsac.smoosy.atlas.jp/mypage/login>

また、投稿料はこれまで同様に無料です。国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。また、他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。

❖ 2023年度 支部からの本部役員 ❖

理事：井原敏博（熊本大工）

代議員：松森信明（九州大理）、冨永昌人（佐賀大理工）、片山佳樹（九州大工）、井原敏博（熊本大工）、松井利郎（九州大農）、佐藤博（長崎国際大薬）、浜瀬健司（九大院薬）

編集委員：

「ぶんせき」野間誠司（佐賀大農）

「分析化学」森健（九大工）

「Analytical Sciences」末田慎二（九工大情報工）

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

https://www.jsac.jp/kaiin/nyuukai_annai/

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

- 九州分析化学若手の会第 36 回研究講演会 および第 41 回夏季セミナー

期日：2023年7月28日（金）～29日（土）
会場：ホテルクラウンパレス北九州（〒8006-8585 北九州市八幡西区東曲里町 3-1 TEL. 093-631-7710）

世話人：佐藤 しのぶ（九州工業大学大学院工学研究院）

- ・九州分析化学若手の会総会
- ・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演
- ・依頼講演（調整中）
建石 寿枝（甲南大学）
原口 和也（九州歯科大学）
- ・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）
- ・一般ポスター発表
- ・懇親会

参加費（含要旨集）：

一般 ¥5000，学生（会員）：無料，学生（非会員）：2000

宿泊費（夕食，朝食込み） 10,000 円（一律）

定員 100 名（予定）

- 第60回 化学関連支部合同九州大会

期日：2023年7月1日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

発表申込期間：3月1日（水）～4月13日（木）

予稿原稿締切：5月11日（木）

発表形式：一般・学生発表はポスター発表のみ。ほか依頼講演（8件、各支部推薦）

支部推薦依頼講演：

「機械学習手法を活用した触媒加速劣化処理の条件推定」

黒木 孝行（日揮触媒化成株式会社）

実行委員長：吉村 利夫（福岡女子大学，繊維学会西部支部長）

代表世話人：桑原 穰（熊本大学）

*詳細は下記 WEB サイトをご覧ください。

<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

- 第61回 分析化学講習会（開催検討中）

期日：2023年8月上旬予定

会場：九州大学伊都キャンパス、九州大学馬出キャンパス、福岡大学理学部、福岡市産学連携交流センター（予定）

実行委員長：富安卓滋（鹿児島大院理工）

❖ 2023年度 支部執行部・役員 ❖

- 執行部

支部長 井上高教（大分大理工）

次期支部長 加地範匡（九大院工）

副支部長 浅田泰（(株)住化分析センター）

稲田幹（九州大学 中央分析セ）

監査 富安卓滋（鹿児島大院理工）

赤瀬信一郎（鹿児島県警）

庶務幹事 江藤真由美（大分大理工）

会計幹事 鈴木絢子（大分大理工）

- 常任幹事（13名）

（九工大・福教大・九共大）

竹中繁織（九州工業大学）

（九大院理） 松森信明（九大院理）

（九大院工） 高橋幸奈（九大 I2CNER）

（九大院薬・第一薬大）

浜瀬健司（九大院薬）

（九大院農・九産大・福女大）

井倉則之（九大院農）

（九大筑紫・近大九州工）

稲田 幹（九大中央分析セ）

（福岡大） 栗崎 敏（福岡大理）

（佐賀） 高椋利幸（佐賀大理工）

（長崎・熊本） 岸川直哉（長崎大医歯薬）

（長崎・熊本） 戸田 敬（熊本大院先端）

（大分・宮崎） 大島達也（宮崎大工）

（鹿児島・沖縄） 新垣雄光（琉球大理）

（企業・官公庁） 松尾隆司（ジェイ・サイエンス西日本）

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文も可）をpdfファイルにて4月末日までに「jsac_kyushu@jsac.jp」（支部長・庶務幹事・会計幹事）宛てに送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）をpdfファイルにて指定期日（受付期間：4月1日～4月30日）に

「jsac_kyushu@jsac.jp」（支部長・庶務幹事・会計幹事）宛てに送付。

* 募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

卒業研究や修士論文の発表会も終わり、東風吹く季節、寒い中にも春が近づいているのを肌で感じる季節となりました。3年にわたる新型コロナウイルスの猛威も収束にむかいつつあるようです。次年度は、若手の会夏季セミナー（実行委員長：佐藤しのぶ先生、九工大）や分析化学講習会（実行委員長：富安卓滋先生、鹿児島大）が対面で開催される予定となっております。また、9月には熊本城ホールにおいて分析化学会第72年会（実行委員長：戸田敬先生、熊本大）が開催されます。みなさまのご参加、心よりお待ちしております。

さて、本支部ニュースの発行をもちまして、私の副支部長としての務めも終わりとなります。来年度は、稲田幹先生（九州大）にバトンタッチいたします。支部のイベントも対面での開催となり、多くの笑顔で彩られた写真がたくさん掲載されることと期待しております。

最後になりますが、会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

（副支部長 大平慎一）



2022 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-35

鹿児島大学大学院理工学研究科化学プログラム 環境解析講座

支部長 富安 卓滋（鹿児島大学理工学研究科理学専攻化学プログラム）

tomy@sci.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8107

副支部長 大平 慎一（熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門）

ohira@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3384

副支部長 赤瀬信一郎（鹿児島県警察本部刑事部科学捜査研究所）

akangelse@outlook.jp / 099-206-0110

庶務幹事 神崎 亮（鹿児島大学理工学研究科理学専攻化学プログラム）

kanzaki@sci.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8106

会計幹事 児玉谷 仁（鹿児島大学理工学研究科理学専攻化学プログラム）

kodama@sci.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8108